

大鹿スケッチ

— 第35号 —

2013年 9月

〈 発信者 〉

前志満 くみ

〈 提供 〉

旅舎 右馬允

容赦ない台風が過ぎると秋がやってきました。雨と風が掃除をし
ていった空に中秋の名月がキラリと際立ちました。生れ育った土地で
今年も豊かに実った田んぼが一枚、また一枚と収穫の時を迎えてい
ます。稲刈りをするおじいちゃん、おばあちゃんたちのうれしそうな
顔や、仕事の合間の面白、おかしい話し。何気ない日常の風景や人の
感情のやり取りをとても愛おしく感じています。今年はキノコが豊作
です。今イクチから始まり、トチシメジ、サクラシメジ、ツツケ、カ
ラカサダケ、クリフウセンタケ、そしてマツタケも上々。食欲の秋です。



松茸のてんぷら



松茸のすき焼き



焼き松茸



松茸ホイル蒸 (土瓶蒸し豪華版)



松茸と鰹節



松茸茶漬け



先月、山のキノコの菌を整えるちょうどいい時期にまとまって雨が降り、順調に
気温も下がったため、雑キノコ、松茸ともでが良く、カタも抜群。これだけ雑キノ
コの種類が豊富で、マツタケも共に楽しめる年は珍しいように感じています。

日本一標高の高い峠
三伏峠でみる
宵待ち月
宵待ち月

台風が磨きあげた空がと
てもきれいなので、「宵待ち
月祭り」にテントを担いで三
伏峠へ出かけました。午前中
に仕事を終わらせ豊口の駐
車場を出たのが正午。夕食用
のキノコを採集しながらい
つもの道を進みます。ところ
どころになごりのダイヤモンド
ジソウ、見応えたっぷりのフ
ジアザミが目にとまります。
カンバやナナカマドは色づ
きはじめていました。この
季節のオサバグサは青み
がかっていて好みの色合
いです。緑色のコケとセットに
なっているとその青みに気
付くことができます。通いな
れた道ですが少し息が上が
ります。どうやら午前中のテ
イスティングが効いている
ようです。自己タイムとして
は少し遅めの三時、三伏峠
着。自分ひとりで食べるには
多いハナイクチを小屋の方と
におあげしたら、おもしろ
か喜んで下さいました。お返
しにビールをいただき、テン
ト設営です。夕食はハナイク
チのトマトパスタです。花畑
のある稜線までビールとウ
イスキーをもっていき「宵待
ち月のお祭り」です。西を臨

めば伊那谷が夕暮れ時のグ
ラデーシオンの中にたらず
みまます。稜線のひんやりと
した空気とくつきりとした
月の輪郭がひらめきをくれ
ました。一時間ほど月夜と
戯れ、お願い事をして、酔
い過ぎないうちにおとなし
くテントで休みます。



樹林帯を抜け、稜線に出る
塩見岳(右)が影絵のよう
に美しく印象的でした。
着。自分ひとりで食べるには
多いハナイクチを小屋の方と
におあげしたら、おもしろ
か喜んで下さいました。お返
しにビールをいただき、テン
ト設営です。夕食はハナイク
チのトマトパスタです。花畑
のある稜線までビールとウ
イスキーをもっていき「宵待
ち月のお祭り」です。西を臨
側

大鹿 HeatBeat
~大鹿の人々~ 第31回
紙谷 正 さん (87)

もひとしおです。登りは十
時までと決めて蝙蝠岳を目
指します。穏やかな良い稜
線歩きでした。道の感じか
らして行き交う人は少ない
ようです。蝙蝠岳から望む
塩見岳はまた違う印象で、
岳の別の顔を発見しました
とってもピラミダル。塩見
岳の別の顔を発見しました
見を求め、それを汲みあげ
たうえですが、先行して進
めたいというの大人の？や
りかたのようです。先に決
まった東京五輪や消費税増
税云々。個人的にはすべて
がきん臭く感じられてしか
たありません。被災地の復
旧や福島第一原発事故の
汚染水漏えい、今後のエネ
ルギー問題など重要な課
題が置き去りにされ、「止め
られない止まらない」のル
ープはさらに続いていくの
でしょうか。個人の幸せが
どこか遠くの人の暮らしを
脅かし、幸せを奪ってしまう
現場を私たちは3・11で
目の当たりにしたはずで
す。しかし世の中は何事も
なかったように流れている
かのようで不安を感じず
にはいられません。

このコーナーでは、季節
ごとの風景と共に大鹿人の
生活をご紹介します。淡々
とした日々の中に熱く響く
「鼓動」をお届けします。
村内のほとんどの田んぼが
稲刈りを終え脱穀をしまし
めています。十五粒以下の
水分が測定できれば晴れて
脱穀です。紙谷さんは八枚
の田んぼのはざ架け風景を
自宅から満足そうに見渡
しながらその時を待ちます。
今月の一八日、リニア中央幹線
の環境影響評価準備書が公表され
ました。その日を境に、村内へ入
ってくる工事関係者が増えたよう
に感じています。実際に村内各所
で測量が始まり、工事の運搬道
路に使える国道などの整備が進
んでいます。表向きはこの準備書
で国民に意見を求め、それを汲
みあげたうえで協議し、着工とい
う流れのはずなのですが、先行
して進めたいという大人の？や
りかたのようです。先に決
まった東京五輪や消費税増
税云々。個人的にはすべてが
きん臭く感じられてしかた
ありません。被災地の復旧や
福島第一原発事故の汚染水
漏えい、今後のエネルギー
問題など重要な課題が置き
去りにされ、「止められない
止まらない」のループはさら
に続いていくのでしょうか。
個人の幸せがどこか遠くの
人の暮らしを脅かし、幸せ
を奪ってしまう現場をわれ
らは3・11で目の当たりに
したはずです。しかし世の中
は何事もなかったように流
れているかのようで不安を
感じずにはいられません。
長編アニメ映画「風立ちぬ」
を作ったスタジオジブリの
プロデューサー鈴木敏夫
さんは「戦争に反対する
ことがこんなに常識じゃ
なくなっているとは知らな
かった」とインタビューに
答え、この映画の公開を
意義づけています。これ
まで常識であった事が通
用しなくなるような世
の中の流れを誰しもどこ
かで感じているの
かもしれません。